

エネクス・インフラ投資法人の物件取得－取得後の運営状況などに注目

以下は、エネクス・インフラ投資法人（証券コード：9286）における新規物件取得についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 本投資法人の資産管理会社は本日、新たに2物件を公募増資を総額計101億円で取得すると発表した。取得予定物件は、新潟県胎内市に所在する設備容量20.0MWの風力発電所及び群馬県高崎市に所在する同11.6MW（パネル出力ベース）の太陽光発電所である。風力発電所の取得は日本の上場インフラ投資法人として初めてのものであり、本取得によりポートフォリオは取得価格総額で760億円（設備容量187.1MW）へ資産増加が見込まれる。取得物件の発電実績は、変動はあるものの相応の水準で推移しており、現時点で格付への影響はないとみている。
- (2) JCRでは、22年3月10日に本投資法人の長期発行体格付を据え置き、「A/安定的」と公表している。本取得はJCRが想定している本投資法人の資産規模拡大や財務運営の方針に沿ったものであり、規模の拡大と分散によりポートフォリオ・キャッシュフローの安定性が高まることが期待される。取得物件含めた保有物件の運営状況とともに、今後の資産規模拡大や財務健全性などを注視していく。

（担当）杉浦 輝一・林 卓也

【参考】

発行体：エネクス・インフラ投資法人

長期発行体格付：A 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル